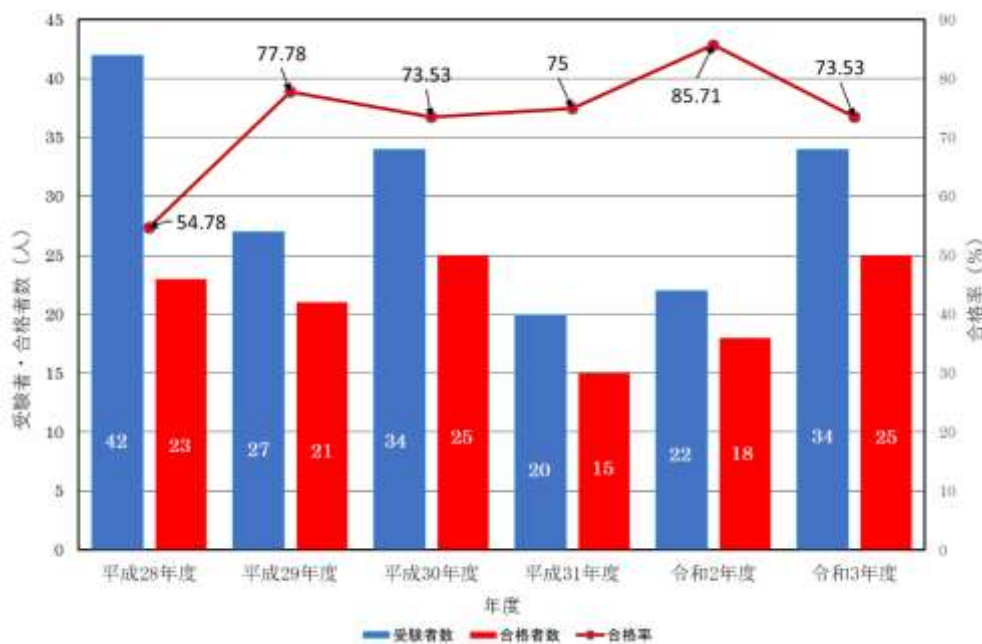


1. 第 108 回薬剤師国家試験に向けた薬学教育センターの取組み

令和 4 年 2 月 19、20 日の 2 日間で行われた、第 107 回薬剤師国家試験の合格発表が 3 月 24 日にありました。本学の新卒および既卒の受験生の合格率は、次のとおりです。全国私立大の新卒者平均合格率は 84.72%でした。

	新卒 (%)	既卒 (6 年制) (%)
本学の合格率	73.53	14.75

参考のため、直近 6 年間の本学の国試合格率(新卒者)の推移を受験者数と共に示します。



新卒者合格率の推移 (平成 28 年～)

2021 年度の新卒業生の国家試験結果は、大学での成績や 6 年次での模試の結果などから予想した合格率に比べ、若干低下した結果となりました。その要因として、合格が十分見込める卒業生が数名不合格になったことが挙げられます。国試不合格者だけでなく卒業が延期された学生の多くは、学内で実施される補講や、講習会、模試への参加率が低い傾向が見られ、自主性や積極性が不足していると感じられました。また、模試を受けないことによって、自身の実力を把握できなかったこと、不得意な分野を見つけて対策をとることが難しかったことから成績が伸び悩んだことも一因だと考えられます。

薬学教育センターは、現 6 年生に対し、模試の受験と講習会、補講へ参加するよう積極的に呼びかけ、要指導の学生だけでなく、全ての学生に対して面談を実施し、勉強法や結果の分析などのアドバイスや精神面でのフォローを行うなど、「今、やるべきこと」を伝え、国家試験合格に向けて全力で取り組んでいます。

2. CBT 及び 国家試験（第 108 回）突破に向けて薬学特論がスタート

4 月になり新年度がスタートしました。全ての学生さんにとって、今まで取り組めなかったことを実行する機会になると思います。薬学部の学生さんの大きな目標となる学力試験が 2 つあります。4 年生で受験する CBT、そして最終目標である 6 年生が挑む薬剤師国家試験です。この節目にあたる 4、6 年次に、それまでに学んだ全ての内容の総復習を行うとともに、学力の向上を目指し開講されている講義が薬学特論 I～VII です。

4 年生を対象に 1 年を通して薬学特論 I,II そして III が合わせて 120 コマ開講され、総復習講義が全教員により行われます。毎週月曜日には、成績評価に直結する確認試験が行われ、学習の進捗状況を確認しています。6 年生を対象に 1 年を通して薬学特論 IV,V,VI そして VII が合わせて 180 コマ開講され、6 年生は薬学部で学んだ 6 年間の集大成となるよう全ての知識の再確認とその応用に取り組み、薬学部卒業に向けて、さらには卒業後の薬剤師国家試験合格につながるよう毎日、勉強に取り組んでいます。また、年間に 7 回の国家試験形式の模擬試験を受験し、自身が進むべき勉強の方針を確認できます。

総復習の講義が 4、6 年生であるということは、低学年から解説されている通常の講義が CBT や国家試験合格に向けて、とても大事であることを意味しています。薬学部の学生さんは勉強で忙しいと思います。薬剤師になりたいという大きな目標に向かって努力を継続しましょう！

3. 薬学教育センター長の紹介



4 月 1 日より、薬学教育センター長として福井雅之先生が就任されました。就任に当たり、抱負を述べて頂きました。

『薬学教育センターでは、入学前から卒業後まで本学学生の学力向上のためのサポートを行なっていきます。勉強の仕方、学力の伸ばし方は、みんな違います。行き詰まった時、不安になった時はいつでも相談に来てください。一緒に解決策を考えていきましょう。』

福井 雅之先生